

和歌山病院での実習を終えて



西大條 仁乃

私は、4月24日から25日まで和歌山病院で実習をさせていただきました。和歌山病院には和医大には無い結核病棟があるということでとても楽しみにしていました。駿田先生による結核についてのレクチャーを受けたり、実際にN95マスクを装着させてもらったり、結核病棟に行かせてもらったりして結核について理解がとても深まりました。特に結核病棟は、もともと閉鎖的で患者は病室に閉じ込められているのかと想像していましたが、実際は出入り口や病棟に空調が施されているものの、病棟は通常どおりで、患者も自由に生活できていると知り驚きました。また、南方先生のレントゲンの正常画像についてのレクチャーもとても印象に残りました。和医大でのポリクリでも患者のレントゲンを見る機会は沢山ありますが、基本的な事を理解しておらず読影に苦労していました。しかし、今回南方先生のレクチャーを受け基本的な事を教えていただいたことで、レントゲンに対する苦手意識が少し減った様に思います。まだまだ勉強不足ですが、今回学んだ事をスタートとしてもっと勉強してこれからは生かしていきたいと思います。

今回、2日間という短い間でしたがとても有意義な時間を過ごすことができました。最後になりましたが、忙しい中レクチャーをしてくださった南方先生、駿田先生、小野先生、呼吸管理について教えてくださったコメディカルの方々、そしてお世話をしてくださった事務の方々、本当にありがとうございました。